

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年5月6日(2010.5.6)

【公開番号】特開2007-316446(P2007-316446A)

【公開日】平成19年12月6日(2007.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2007-047

【出願番号】特願2006-147381(P2006-147381)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

B 4 1 J 2/44 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/01 1 1 2 A

G 0 3 G 15/01 1 1 4 A

B 4 1 J 3/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月19日(2010.3.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

周囲に複数の感光体が配置された中間転写ベルトであって、前記複数の感光体上のトナー像が転写され、転写されたトナー像を一括して記録材に転写するための中間転写ベルトと、

画像形成装置において前記中間転写ベルトの下面側に設けられている感光体よりも画像形成装置において鉛直方向の下方に設けられた第一像露光装置であって、この感光体を露光するために回転多面鏡を駆動する駆動軸部を有するモータと、このモータを支持する基体とを有する第一像露光装置と、

画像形成装置において前記中間転写ベルトの上面側に設けられている感光体よりも画像形成装置において鉛直方向の上方に設けられた第二像露光装置であって、この感光体を露光するために回転多面鏡を駆動する駆動軸部を有するモータと、このモータを支持する基体とを有する第二像露光装置と、

を有する画像形成装置において、

前記第一像露光装置と前記第二像露光装置のそれぞれの回転多面鏡は画像形成装置における鉛直方向に対してそれぞれのモータよりも上方側に位置し、

前記第一像露光装置と前記第二像露光装置のモータはそれぞれ駆動軸部の軸受部を有する軸受部材を有し、この軸受部材によりそれぞれの基体に対して位置決めされていることを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記第一像露光装置と前記第二像露光装置の軸受部材はそれぞれ、駆動軸部の回転軸を中心とする円形形状であり、それぞれの基体に設けられている円筒部に嵌合して、それぞれの基体に対して位置決めされることを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記第一像露光装置と前記第二像露光装置のそれぞれの軸受部材の外径は、それぞれの回転多面鏡の回転径よりも大きいことを特徴とする請求項2に記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記第一像露光装置における基体は、画像形成装置における前記第一像露光装置の下部に設けられており、

前記第二像露光装置における基体は、画像形成装置における前記第二像露光装置の上部に設けられていることを特徴とする請求項1から請求項3のいずれかに記載の画像形成装置。

【請求項5】

前記第一像露光装置と前記第二像露光装置から出射されたレーザビームをそれぞれ対応する感光体に結像するための光学部品は、それぞれの基体で支持されていることを特徴とする請求項1から請求項4のいずれかに記載の画像形成装置。

【請求項6】

前記第一像露光装置と前記第二像露光装置のモータはそれぞれ、モータを駆動するための電気回路を有する電気基板を有し、この電気基板はそれぞれの軸受部材の下側に設けられていることを特徴とする請求項1から請求項5のいずれかに記載の画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明は、周囲に複数の感光体が配置された中間転写ベルトであって、前記複数の感光体上のトナー像が転写され、転写されたトナー像を一括して記録材に転写するための中間転写ベルトと、

画像形成装置において前記中間転写ベルトの下面側に設けられている感光体よりも画像形成装置において鉛直方向の下方に設けられた第一像露光装置であって、この感光体を露光するために回転多面鏡を駆動する駆動軸部を有するモータと、このモータを支持する基体とを有する第一像露光装置と、

画像形成装置において前記中間転写ベルトの上面側に設けられている感光体よりも画像形成装置において鉛直方向の上方に設けられた第二像露光装置であって、この感光体を露光するために回転多面鏡を駆動する駆動軸部を有するモータと、このモータを支持する基体とを有する第二像露光装置と、

を有する画像形成装置において、

前記第一像露光装置と前記第二像露光装置のそれぞれの回転多面鏡は画像形成装置における鉛直方向に対してそれぞれのモータよりも上方側に位置し、

前記第一像露光装置と前記第二像露光装置のモータはそれぞれ駆動軸部の軸受部を有する軸受部材を有し、この軸受部材によりそれぞれの基体に対して位置決めされていることを特徴とする。